

# 施政概要(案)

平成24年第2回(6月)定例会

四街道市

## 【はじめに】

本日、ここに、平成24年第2回四街道市議会定例会を招集いたしましたところ、議員各位にはご参集をいただき、誠にありがとうございます。

本定例会に提案いたしました案件につきましては、よろしくご審議の上、ご認定くださるようお願い申し上げます。

それでは、施政の概要について申し上げます。

はじめに本市の直面する重要事項及び懸案事項への取組についてでございますが、新たな総合計画の策定については、昨年度様々な市民参加を得ながら実施しました基本構想の基礎調査の結果を受け、現在、基本構想の素案作成を進めているところです。また、市政の長期的ビジョンを示すものであり、計画的な市政の推進に重要な指針となる基本構想について、その位置付けを明確にするための「(仮称)四街道市基本構想条例」の制定を目指し、5月に総合計画審議会を開催するとともに、現在、市民意見提出手続を行うなど、市民参加条例に基づく市民参加手続を実施しているところです。

次に、四街道市地域防災計画については、26年度からの新たな計画の策定に向け、現行計画の見直しを行うための諸準備を進めています。

行財政改革については、新たな総合計画の策定に合わせ、第7次行財政改革推進計画を策定すべく、計画策定の基本方針を定め、同方針に基づき、策定作業を進めています。

子育て日本一のまちづくりについては、「未来のまちづくり 36のアクション」や「こどもプラン」をはじめとした諸計画に基づき、子育て日本一に向けた諸施策を継続的に推進するとともに、子ども医療費助成のさらなる拡充や小学校低学年における30人学級の拡大など、その進展に向けた取組を進めています。

ごみ処理施設については、佐倉市、酒々井町清掃組合への加入に関し、本年度中に結論を出すべく、協議を継続してまいります。

東京電力福島第一原子力発電所の事故に伴う放射能汚染の対応については、市民の食の安全・安心確保のため、消費者庁より簡易型放射性物質検査機器の貸与を受け、5月21日から市民の皆様が持参した食品などの簡易測定を始めました。また、23年度に本市が放射線対策に要した費用について、5月21日付で東京電力株式会社に対し、請求を行いました。

なお、東日本大震災の被災地の復興支援の一環として、東松島市に貸与していた中型バスについては、現地において代替バスが確保されたことから、本年

5月11日に返却されました。23年4月に設置しました「東日本大震災復興支援本部」は、本年4月19日をもって解散しましたが、今後も危機管理室をはじめとした各所管課において、被災者への支援事業を継続的に実施してまいります。

続きまして、主要施策の概要について申し上げます。

## 【分野別の施策】

「教育と文化が花開くまち」の分野でございますが、学校教育については、「命の教育」推進のための方策として、思いやる心と強い心の育成を目指した8つの項目の一つに、「『いのち』のつながりと輝き」を重点主題とした道徳の時間の充実を掲げ、指導主事を派遣し、校内研修への支援を行いました。また、小学校低学年での30人学級の導入をはじめとしたきめ細かな教育を行うため、市独自に少人数学級推進教員3名を雇用し、四街道小学校、八木原小学校及び和良比小学校の1年生を対象とした少人数学級、少人数指導、ティームティーチングを実施しています。

教育環境の整備では、「児童体力作り指導者派遣事業」として、各小学校への陸上運動指導者の派遣を開始しました。

学校施設の整備・充実では、本年度から26年度までの3か年で進める栗山小学校の建設事業において、校舎の改築工事の実施設計を委託しました。また、既設校舎（普通教室棟）の解体工事について、工事発注の準備を進めるとともに、仮設校舎の建設についても、着工に向けて準備を進めています。

給食施設整備事業では、みそら小学校給食施設の共同調理場施設への改修に向け、実施設計を委託するなど、増築工事発注の準備を進めています。

また、体育館の耐震化では、栗山小学校の設計業務が完了し、工事発注の準備を進めているほか、大日小学校、八木原小学校及び旭中学校においては、設計業務を委託するなど、工事発注に向け、準備を進めています。

社会教育については、図書館の主催事業として、乳幼児期から本に親しむことができるよう、また、子育て支援の観点から、赤ちゃんと保護者が絵本を通して心ふれあうひとときを持つきっかけとなるよう、健康増進課と連携し、3～4か月児相談時に、絵本の配布や読み聞かせを行うブックスタートを4月から開始しました。

芸術文化活動の支援については、文化センターホール棟耐震補強工事の実施設計委託が本年3月末に完了しましたことから、現在、工事発注に向け、準備を進めています。

「環境との共生を進めるまち」の分野でございますが、環境保全・衛生については、環境への負荷低減等のより一層の推進に向け、住宅用太陽光発電システムの設置者に対する補助事業を拡充し、本年度は100件の交付に対応できるものとなりました。受付は3期に分けて行うこととし、第1期の受付は6月20日から開始します。

「ゆとりと安全を実感できるまち」の分野でございますが、生活基盤については、水道事業における災害時の電力対策として、市内3か所の取水井戸の非常用発動発電機設置工事を発注しました。

防災・安全については、市民の生命や生活の保護を目的に、災害発生時において市の業務を円滑に遂行するため、「四街道市業務継続計画」を策定しました。なお、この計画の実行性の確認と職員の防災意識の向上を目的として、5月19日に職員による非常時参集訓練を実施したところです。

消防体制の整備では、消防指令業務の共同運用に伴う25年度からの「ちば消防共同指令センター」への業務移行に向け、引き続き関係消防本部と調整を進めています。

また、消防救急無線のデジタル化では、25年度からの無線運用開始に向け、各消防車両等の無線機整備の準備を進めています。

消防団については、6月10日に中央公園野球場で開催予定の「第24回四街道市消防操法大会」に向けて、各分団とも日々の訓練に励んでおりますので、皆様の応援をお願いします。

「生涯安心して暮らせるまち」の分野でございますが、地域福祉については、事業仕分の結果を受けた対応方針を踏まえ、国民保養センター鹿島荘の耐震診断調査を進めています。また、子ども・若者育成支援では、社会生活を円滑に営む上での困難を有する若者に対する支援体制の構築に向け、庁内検討会議を設置して検討を行っているところです。

子ども家庭福祉については、子ども医療費助成の所得制限の撤廃及び自己負担金の統一並びに小学校4年生から中学校3年生までの通院分についての助成拡大を8月から実施するため、諸準備を進めています。

高齢者福祉及び介護保険については、地域のニーズに密着した更なる相談体制の充実に向け、第5期高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画に基づき、本年4月に地域包括支援センターの補完的役割を持つサブセンターを市内3か所に設置しました。

「活力と魅力が躍動するまち」の分野でございますが、道路・交通については、交通の円滑化と安全確保のため、大日萱橋台12号線及び四街道大日桜ヶ丘線の舗装修繕工事を発注しました。

都市計画道路の整備では、3・3・1号山梨臼井線の用地取得を進めるとともに、橋梁詳細設計等を委託するなど、整備に向けた準備を進めています。

また、3・4・20号物井1号線及び7・6・21号物井2号線については、物井特定土地区画整理事業の進捗に合わせ、道路築造工事を進めています。

公共交通関係では、四街道市地域公共交通会議を5月23日に開催し、ヨッピーの運行ルート、運賃設定等について協議しました。また、公共交通空白地域の解消に向け、昨年度から地元地区及びバス事業者と協議を進めてまいりました大日畔田台地区への路線バス運行については、7月下旬を目途に運行が予定されているところです。

市街地形成については、鹿渡南部特定土地区画整理事業において、都市計画道路3・4・7号南波佐間内黒田線の地区外整備の遅れなどにより、保留地処分が計画どおりに進まず、組合事業に大きな影響が生じていることから、当該都市計画道路に隣接する保留地を都市計画道路代替用地あるいは仮設道路用地として購入してまいりたいと考えています。

「市民協働で歩むまち」の分野でございますが、行財政改革については、8月5日に予定している事業仕分けの実施に向け、市民評価人の募集や対象事業の選定など、諸準備を進めています。

窓口サービスでは、更なる利用者の利便性向上を図るため、休日午前の窓口開設を現在実施している第4日曜日に加え、10月より第2日曜日にも実施するよう、諸準備を進めています。

以上、これまでの施政の概要について申し上げます。

今後とも、市勢発展のため、全力を傾注し、市政の課題に取り組んでまいります。

議員各位におかれましては、より一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成24年6月4日

四街道市長 佐 渡 斉